

こんな事をしました！ こんな事がありました

## 2005年度 里山保全総合講座報告③

9月10日＝土曜日(第4回) 里山フェスティバルの準備作業でNICEのメンバーと協働

今回の講座は11日に開く「里山フェスティバル in 名張」の前作業を兼ねたもので、里山フェスティバルの準備作業が主だった。

10日の午前中は国際ワークキャンプ参加の若者と一緒に野外ステージ周辺の倒木処理作業。11日に行われる「里山フェスティバル」のコンサートステージから南側の斜面を見上げると台風で倒れた枯れ木が目につき、みっともない姿を見せないようにする目的。倒木をチェーンソウで玉切りにし、林内のそこかしこに放置したままの切り倒し木と一緒に「ビートルズベッド」を作って積み上げた。講座生がチェーンソウで枯れ松などを切り倒しキャンプ参加の若者が運び役。予定の作業を終わり一帯がスッキリした結果、周辺の林の未間伐の木々がやたら目立つ様になってしまった。



午後は林内作業車を通す予定で以前から作業を続けているフレンドシップハウスへ通じる林内通路の整備。これまでの作業で切り倒したまま放置している小径木を整理し、枯れ松を切り倒し、通路幅を広げた。作業中、枯れ松が思わぬ方向へ倒れたり、チェーンのはずれたチェーンソウの整備中にチェーン刃で指を傷つけたりと、思わぬアクシデントもあったが、大きな事故も無く無事に作業を終了。

夕食は伊井野さん自慢の鍋料理で、夜遅くまで交流と懇親の宴が続いた。

9月11日(日曜日)合宿2日目は植樹の手伝い、フェスティバル・コンサートで踊った



この日は「里山フェスティバル in 名張」の日。講座生は一般参加者の記念植樹のお手伝い。朝から植樹場所の整備。1メートル間隔でテープを張り植樹する場所に印をつけ、クワで穴掘りをしてポット苗を簡単に植えられるように準備。用意したコナラとクヌギの苗200本の約半分を植えたが、一時期にドッと押し寄せた一般参加者の手伝いにテンテコ舞い。ポットをはずさずにそのまま植える人もいたりしたが、正午前には無事終了した。

午後には「こもれびコンサート」がスタート。だが、開会から30分程で猛烈な雨。中川重年さんのトークショーとホルン演奏が途中で中止。伊賀シンフォニックアカデミー吹奏楽団の演奏も中止になった。だが、豪雨も暫くすると小雨になりやがて止んだ。すると中川さんがみんなをステージに呼び集めスイス音楽の演奏が始まった。陽気なリズムが林にこだまし、参加者がステージいっぱいに踊り、講座生も一緒になって踊った。およそ1時間、熱気さえ感じる盛り上がりのなかで終了。参加者は心地良い汗を拭きながら帰途についた。

午後には「こもれびコンサート」がスタート。だが、開会から30分程で猛烈な雨。中川重年さんのトークショーとホルン演奏が途中で中止。伊賀シンフォニックアカデミー吹奏楽団の演奏も中止になった。だが、豪雨も暫くすると小雨になりやがて止んだ。すると中川さんがみんなをステージに呼び集めスイス音楽の演奏が始まった。陽気なリズムが林にこだまし、参加者がステージいっぱいに踊り、講座生も一緒になって踊った。およそ1時間、熱気さえ感じる盛り上がりのなかで終了。参加者は心地良い汗を拭きながら帰途についた。



中川重年さんの演奏で舞台狭しと踊る参加者と講座生

【文責＝里山保全リーダー受講生・芝田 香象】